



『給食番長：福岡県田川弁版』 好学社

作・絵：よしながこうたく／翻訳：ういろうさん

【01】

キーン コーン カーン コーン
わんぱく小学校の 給食の時間が はじまったごとあるよ。

【02】

どかん！ばしゃん！
「うまいシチューは、オイラのもんやきの！」
「きゃー、番長やめりー！」

【03】

「よっしゃ、おまえたち、すかんとは残していいき、さっと 遊び行こうや！！
せいじ、はよせんか！
まさお、グズグズしよったら おいていくきの！」
「うわーい、ちょっとまって、番長さーん、まさお、いそげつちや」
「ええいっ！ やさいすかんき、ぼくものこすばい」
「ぼくも」
「じゃ、あたしもー」
1年2組はいつも大きわざ。入学以来、まだいっぺんも給食をちゃんと食べたことがないんよ。

【04】

みんながお昼休みで遊びにいったごろ、給食室では おばちゃんたちが 肩をよせて泣きよったんよ。

「うっうっ、1年2組は　またこげん残してから・・・」
「もう　これで3ヶ月ずーつとやが」
「番長っち　呼ばれよう子が　みんなをそそのかしよんよ」
「その子を　なんとかせなね」

【05】

つぎの日の給食の時間、いよいよはらかいた給食のおぼちゃんたちは　1年2組の教室にのりこんだんよ。

「こらあっ！　あんたが番長やね！　しゃんしゃんすわってたべんね！」
「へっへへ〜ん。いやばーい。オイラ牛乳もパンも　すかんもん」
番長はいつちよんいうこときかせん。
「ちよつとまたんね、残したらもったいないやろ！」
「こげな給食やら、ぜったいたべんばーい」

【06】

1年2組は、その日も　ようけ給食を残したんよ。
「へっへへ。さーて、かたづけっしもたし、あそびいーこう」
「もう、なんをゆってもダメなんやか・・・」
給食のおぼちゃんの中から　おおつぶの涙が　あふれだしたんよ。
そして、そのつぎの日・・・

【07】

キーン　コーン　カーン　コーン
いつものごと　給食の時間が　きたんやけど、給食室の前で　みんながさわぎよんよ。
「どうしたん？せいじ、なんかあったんか？」
「番長さん、あれみてん！給食のおぼちゃんたちがいえでしたっちばい」
給食のおぼちゃんたちがおらんやったら、みんなのお昼はぬかなごとなる。
「あ〜〜〜ん」「びえええ〜〜〜〜〜ん」
「番長が“すかんとはのこし！”とかいうき、おぼちゃんたちが　はらかいちょうがー！」
「番長、どうするん？」
「あやまってきー、番長！」
「どうかして、番長！」
「番長！」「番長！！」

【08】

みんなが　ぐらぐらこいちょうとに、番長は自信満々。
「ふっふん。だいじょうぶっちゃ、まかしちよき！給食やら、オイラたちでつくったらしいやん。いくぜ、まさお！」
「がんばる〜」
「せいじ！」
「まかしちよって、番長さん！」
「たかふみ！」

「おっけい、番長！」

「おばちゃんたちより　　うまい給食　　つくっちゃるき！」

【09】

「せいじ！今日の献立はなんかい？」

「えーっと、ビーフカレーとひじきのサラダっち！」

「よし、まさお。肉もってこんか！！」

「うわ～、重いばい、番長！」

「そーれ、せいじ！　　魚でダシとるきの！」

「さすが番長さん、あったまいい！」

「たかふみ！かくし味に　アップルいれてみれ！」

「よしきた、番長！」

「うおおおお！！！」

トントントントントントントン！！！

番長は、すさまじい勢いで

ひっしもしで材料を切ったんよ。

【10】

「どうりゃああ～～！！

612人分なんて　朝飯まえっちゃ！

じゃんじゃん、じゃんじゃん　　具入れっしまえ！

まぜて、まぜて、かきまぜれ！」

「番長、かっこいー！」

【11】

ついに　番長たちの給食が　できあがったんよ。

みんなは　とびあがって　およろこびたい。

「ほしたら、みんな　たべり！」

「やったー！　　さすが番長！　　めちゃめちゃおいしそうやん！！」

【12】

ガッタン　ガタン

あれ？　なしやか？　みんなが　席をたちはじめたばい。

「どうしたん！？　みんな！？」

番長はなんがなんかわからんごとなりました。

「まずーい。ぜんぜんおいしくないがー」

「こげな給食やったら、いっちょん食べられんよー」

「あ～～～ん」「びえええ～～～～ん」

「はあ？　食べられんっち？　なしかい！？　オイラたち、みんなのために　いっしょうけんめいつくったんばい……」

【13】

下校時間をすぎて、あたりはすっかり暗くなってきたんよ。

「こんなはずやなかったんに・・・
オイラのすきなもん いっぱい入れたんに・・・」
「番長さんの包丁さばきは 最高やったばい」
「ほいでも、食べてもらえんやったきね・・・」
「ねえ、番長。明日もするん？」
「明日やろ・・・」
「お婆ちゃんたち・・・帰ってこんやか・・・」

【14】

日が暮れて おおなべ、食器をゴシゴシゴシゴシ。
もう、番長たちは いまにも泣きだしそうやが。
そんとき・・・ガチャリ
「やっと わかったんやね？」
「あ！その声は！？」

「お婆ちゃん！」

【15】

「お婆ちゃんたちも みんなに 残されたら 悲しいんよ。おいしく食べてもらえるごと
まいにち いっしょうけんめい 給食をつくりようんやけん」
「それにね、給食に入っちゃうのは、元気におおきくなるんに 必要な食べものばかりな
んよ。やき、みんなが残したら お婆ちゃんたちは 心配なんやが・・・」

【16】

「そうやったん！」
「お婆ちゃん いままでごめんね。ほんとうにありがとう」
「いいんよ、いいんよ」
「明日からは いっぱい食べて おおきくなるんよ」
「オイラはよおおきくなって、お婆ちゃんのおムコさんになるき！」
「まあ、番長やろ。うふふふふ」
「うわあっははははははは」
夜の給食室に 笑い声がこだましたんよ。

【17】

ほして、つぎの日。
1年2組の机のうえには、きれいにならんだおいしそうな給食がいっぱい！
しゃきっと すわって 給食番長の合図にあわせて、
お手手をあわせて、みんなそろって いっただっきまーす！

